

「7章 資料の分析と活用」 (1年：P206～) 模範解答

1節 資料の分析

とある遊園地の2大人気アトラクション。どちらも連日長蛇の列だが、より人気があるのはどちらだろうか。下の2月1日～28日の各アトラクションの待ち時間を、いろいろな方法で比べてみよう！

1 度数の分布

◎ 2つの資料を表で比べよう

各アトラクションの待ち時間 (分)

月	日	曜日	シューティング	コースター
2	1	土	120	100
	2	日	110	80
	3	月	110	110
	4	火	100	130
	5	水	100	100
	6	木	130	160
	7	金	90	40
	8	土	110	110
	9	日	110	80
	10	月	170	170
	11	火	130	120
	12	水	130	150
	13	木	100	110
	14	金	110	150
	15	土	130	90
	16	日	110	80
	17	月	110	140
	18	火	110	160
	19	水	110	140
	20	木	150	170
	21	金	130	110
	22	土	130	100
	23	日	200	200
	24	月	130	170
	25	火	100	140
	26	水	100	160
	27	木	100	120
	28	金	90	80

○左の表の待ち時間を、『度数分布表』で整理しよう。

『度数分布表』とは、資料をいくつかの区間に区切って、その各区間に入る資料がいくつあるのかをまとめた表のことである。

下の表は、待ち時間を30分～210分の間で30分ごとに区切った度数分布表である。例えば階級が60～90の場合は、「待ち時間が60分以上90分未満の日数」を右側の**度数**の欄に書き込んでいく。左の表の待ち時間を見て、コースターの各階級の度数を下の表の太枠内に書き入れてみよう！また、2つの度数を見比べて、現段階でどちらが人気だと思うか、下の欄に書いてみよう！

階級 (分) (階級の幅：30分)	階級値 (階級の中央の値)	度数 (日)	
		シューティング	コースター
以上 未満			
30 ~ 60	45	0	1
60 ~ 90	75	0	4
90 ~ 120	105	17	8
120 ~ 150	135	8	6
150 ~ 180	165	2	8
180 ~ 210	195	1	1
計		28	28

例えば30～60の階級なら『30以上60未満』の日数が入ります。60を含めないように注意！

各階級の度数を数え終わった後に、合計した数がちゃんと28になったかを確認すると、数え間違いを防止できます！

↓解答例 (どちらを選んでも、度数分布表を見比べて理由がしっかり書けていれば正解です！)

○度数分布表から、より人気があると考えたのは(シューティング/コースター)である。

理由は…コースターは待ち時間が90分未満の日が5日あるが、シューティングはどの日も待ち時間が90分以上だから、全体としてシューティングの方が待ち時間が長い。

○度数分布表から、より人気があると考えたのは(シューティング/コースター)である。

理由は…待ち時間が150分以上の日数を比べると、シューティングは3日なのに対して、コースターは9日だから、全体としてコースターの方が待ち時間が長い。